

# 第5分科会 小中学校における不登校支援の在り方

～子どもの多様な学びにつながる適切な不登校支援を探る～

大阪府教育庁市町村教育室  
小中学校課生徒指導グループ

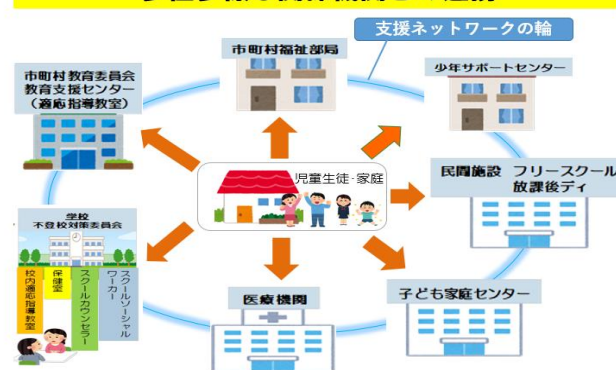
参加者のアンケートより

## 「多様な学び」って何？「つながる」って具体的にどうするの？ 不登校児童・生徒やその兆しのある子どもたちへの支援を探ります！

大阪府の不登校児童・生徒数は全国同様、年々増加し、その要因・背景や支援ニーズは多岐に渡る傾向にあります。

本分科会では、ICTを活用した取組み、支援の核となる居場所づくりについての実践発表、不登校支援に携わる認定NPO法人による講演、パネルディスカッションを通して、これからの不登校支援について、学校のヒントとなる取組みをお伝えします。

### 多種多様な関係機関との連携



### 実践発表

#### 多様な教育機会や居場所の確保について

1. ICTを活用した取組み（八尾市教育支援センターより）
2. フリースクールだからこそできる学び（フリースクール「こころ」より）
3. 子どもたちが安心して通える魅力ある学校づくり（守口市立樟風中学校より）

### 講演

#### 認定NPO法人 CLACK

困難な状況にある子どもへの支援  
多様な支援のひとつとしてのプログラミング学習支援  
理事長 平井 大輝（FORBES JAPAN 30 UNDER 30 2023 選出）

### パネルディスカッション

ファシリテーター： 関西外国語大学 教授 新井 肇  
（「生徒指導提要の改訂に関する協力者会議」副座長）

国調査では、不登校児童・生徒のうち、約4割が学校内外の相談・指導につながっていないという結果が出ています。

「生徒指導提要に基づいた生徒指導の方向性」を確認したうえで、教職員、SC・SSW等専門家、子どもに関わる団体等、それぞれの立場から「多様な学び」に向けて子どもを支えていく方法と、お互いにつながるための工夫について協議し、参加者にとって、明日からできる子ども支援のヒントにせまります。

・いろいろな立場の方のお話を聞くことができ、参考になりました。不登校を一人で抱えず、チーム学校として取り組んでいきたいと思いました。

・これまでの不登校対応の進め方から考えを改め、多様な支援が必要となることを、校内で発信します。

・SCやSSWと連携しながら、学校だからこそできる支援を深めていきたいと思います。